



第6回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム

# 歩いて楽しい健康増進のまちづくりの推進

平成28年8月30日 松山市 環境部長 大野 彰久

# 松山市概要

面積 429.37km<sup>2</sup>  
総人口 514,847人 (平成28年4月1日現在の推計人口)



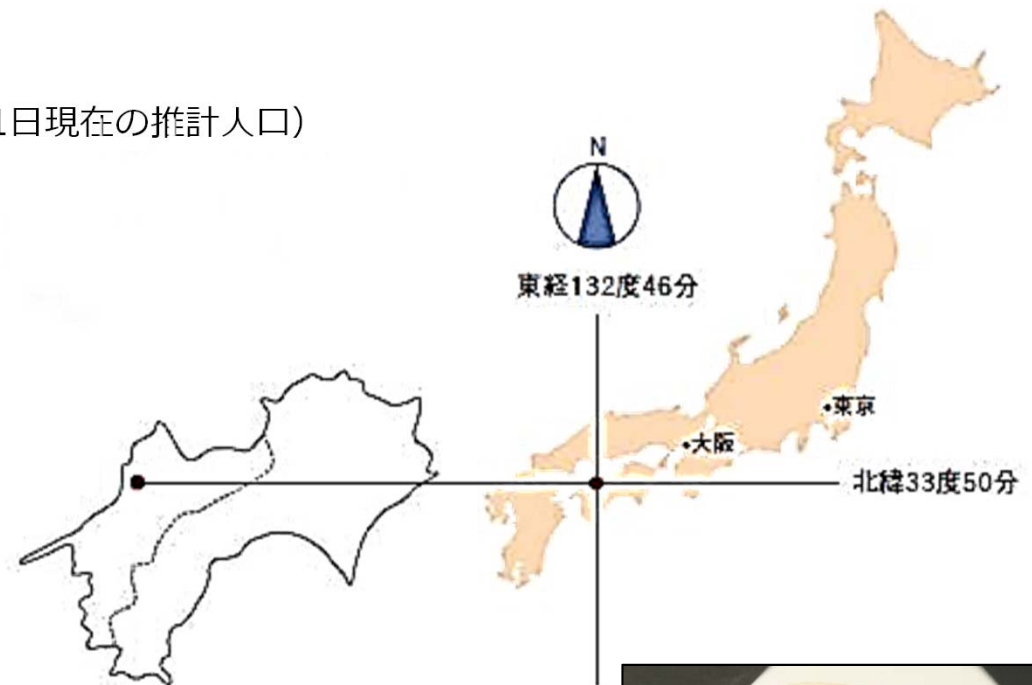
松山城



道後温泉



紅まどonna

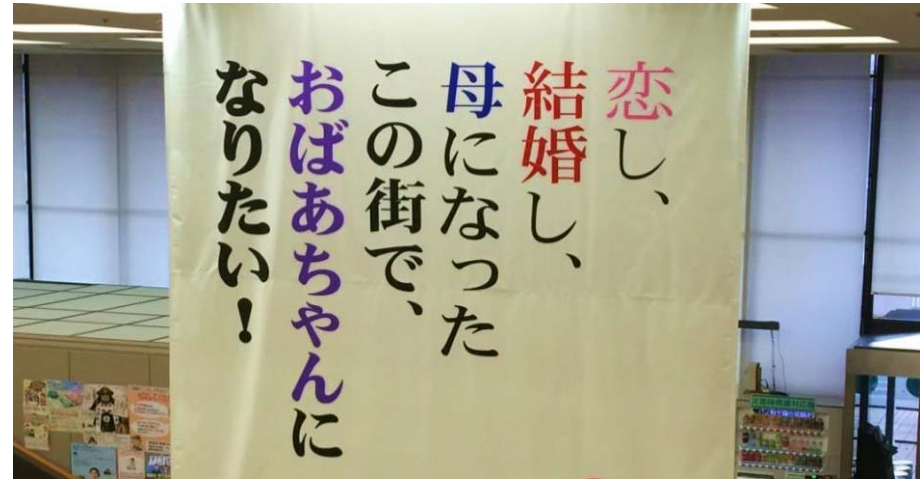
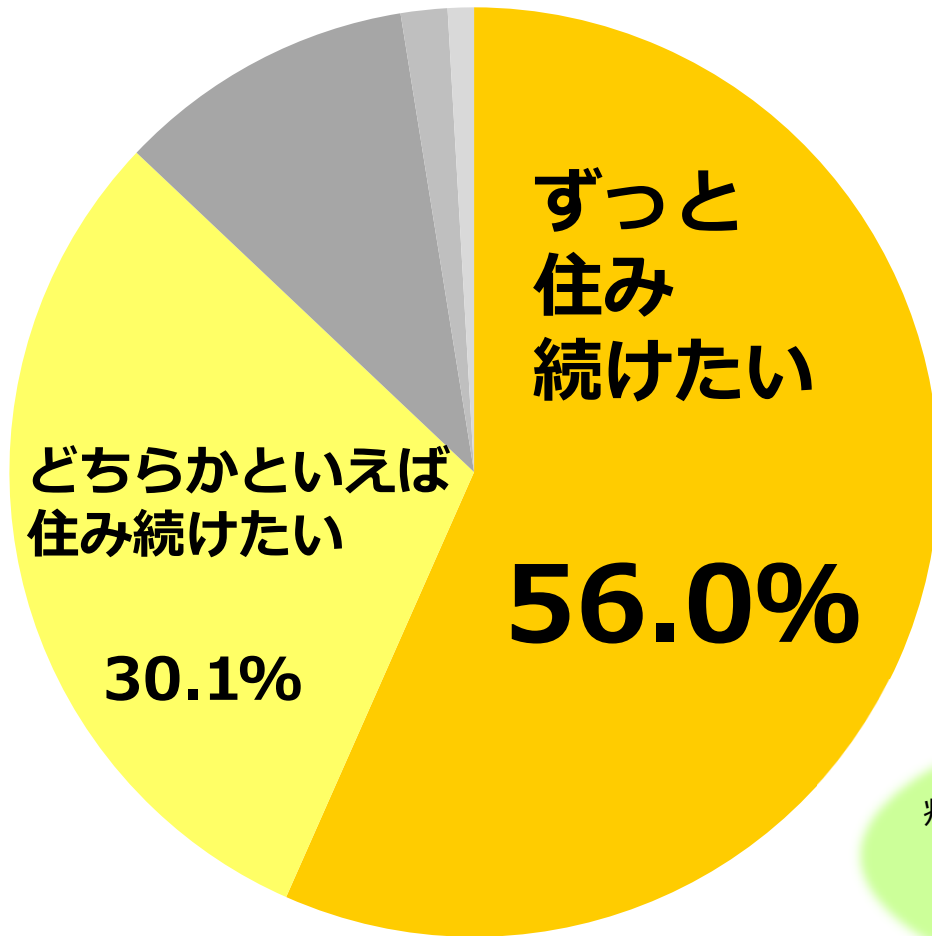


一六タルト



坊っちゃん団子<sub>2</sub>

## 市民の約9割が住み続けたい幸せ実感都市



通勤通学時間 20分

**全国1位**

※1

病院や診療所まで 0.5km

**全国1位**

※2

ショッピングセンター  
まで 2.7km

**全国1位**

※3

新しい松山市総合計画策定に係る市民  
等意識調査結果(平成23年)

コンパクトシティであることも魅力の一つに

出典※1 「平成23年社会生活基本調査」総務省統計局

※2,3 「地域の生活コスト『見える化』システム」経済産業省

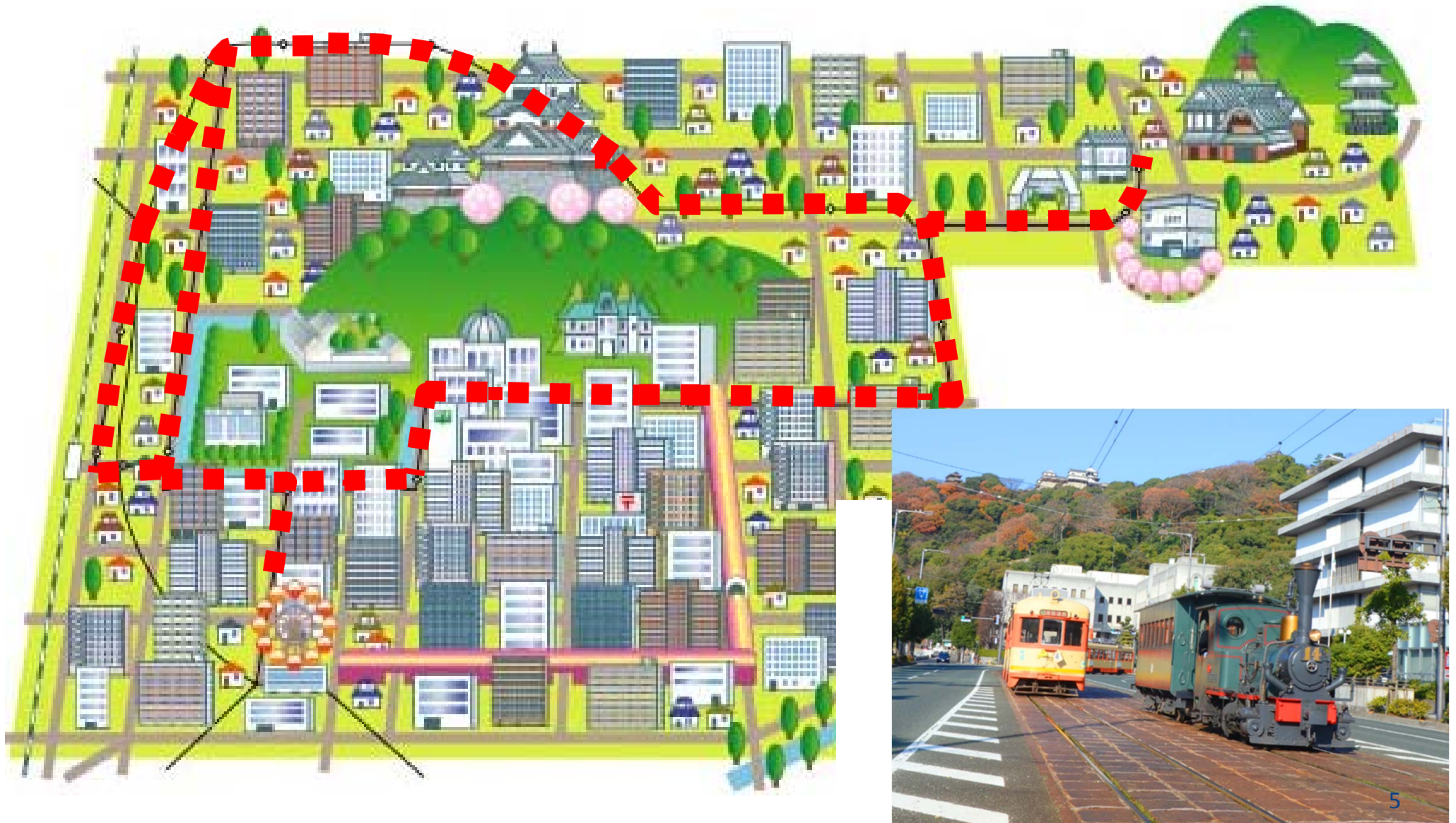
# コンパクトシティとしての地域特性①

陸・海・空の窓口が市内中心部から約5km圏内にある



# コンパクトシティとしての地域特性②

路面電車が市内中心部を環状に取り囲んでいる



# コンパクトシティとしての地域特性③



少子高齢化

人口減少

持続可能な都市の実現に向けて

「歩く」ことは  
健康増進に繋がる

- ① 都市機能の集約
- ② コンパクト且つアクセス可能な市街地形成
- ③ 安全・快適な歩行空間の形成、賑わいの創出

歩行回遊を支援・促進するための道路空間の再配分や、  
沿道への各種プログラムの導入により、  
「歩いて楽しい健康増進のまちづくり」を実現

# 花園町通りの道路空間再配分と景観整備

「歩いて暮らせるまち松山」を象徴する、  
新たな「シンボルロード」の創出



市内電車が通行し、  
車道 4 車線 + 副道 2 車線の幅員 40m  
(市内最大)



# 花園町通りの道路空間再配分と景観整備

「歩いて暮らせるまち松山」を象徴する、  
新たな「シンボルロード」の創出



2012 社会実験時

子どもからお年寄り、障がい者の方まで  
誰もが笑顔で生き生きと暮らしやすい街をつくる

# 道後温泉の歩行空間整備

整備前 (H18.1.21)



整備後 (H20.2.10)



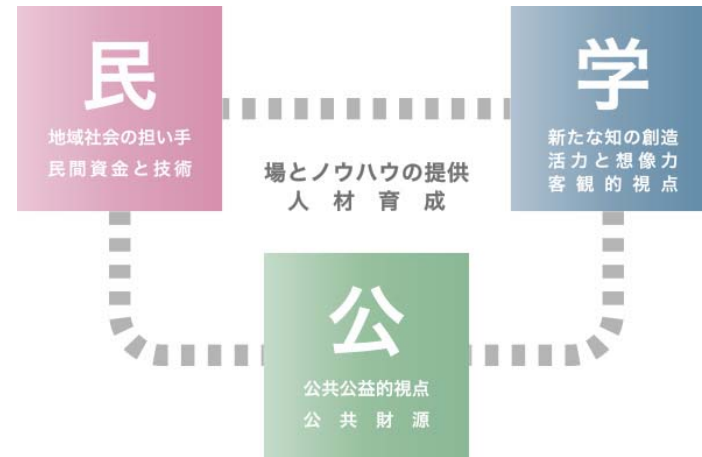
# まつやまスマイル（笑顔）ウォーキングマップ

地元の方と協働しながら、健康増進を目的とした、ウォーキングマップを作成



イベント型ウォーキングの様子

# 松山アーバンデザインセンター



もぶるテラス（休日利用の様子）



みんなのひろば（土曜夜市の様子）<sub>12</sub>

# 今後の課題

ハード面の整備



ソフト面の充実

電車・バス・路面電車の乗換利便性の向上  
(シームレス化)  
駅・電停のバリアフリー化  
郊外駅の結節点整備  
公共交通のサービス水準の向上

中心部の賑わいの創出  
イベントの実施  
憩い空間の創出  
ウォーキングイベントの実施



**歩いて楽しい健康増進のまち**  
**低炭素型都市の実現**



ぜひ皆様、  
四国・松山にお越しく下さい

